

一般道道

たて まち ふく しま
館 町 福 島 線

再評価原案準備書説明資料

平成16年度

北海道開発局

目 次

1. 事業の概要.....	1
(1) 目的	1
(2) 計画の概要	3
(3) 経緯	3
2. 事業の必要性等.....	4
事業の効果や必要性を評価するための指標	4
(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	5
(2) 事業の投資効果	13
(3) 事業の進捗状況	15
3. 事業の進捗の見込み.....	16
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点.....	18
5. 関係する地方公共団体等の意見.....	23
6. 対応方針.....	25

1. 事業の概要

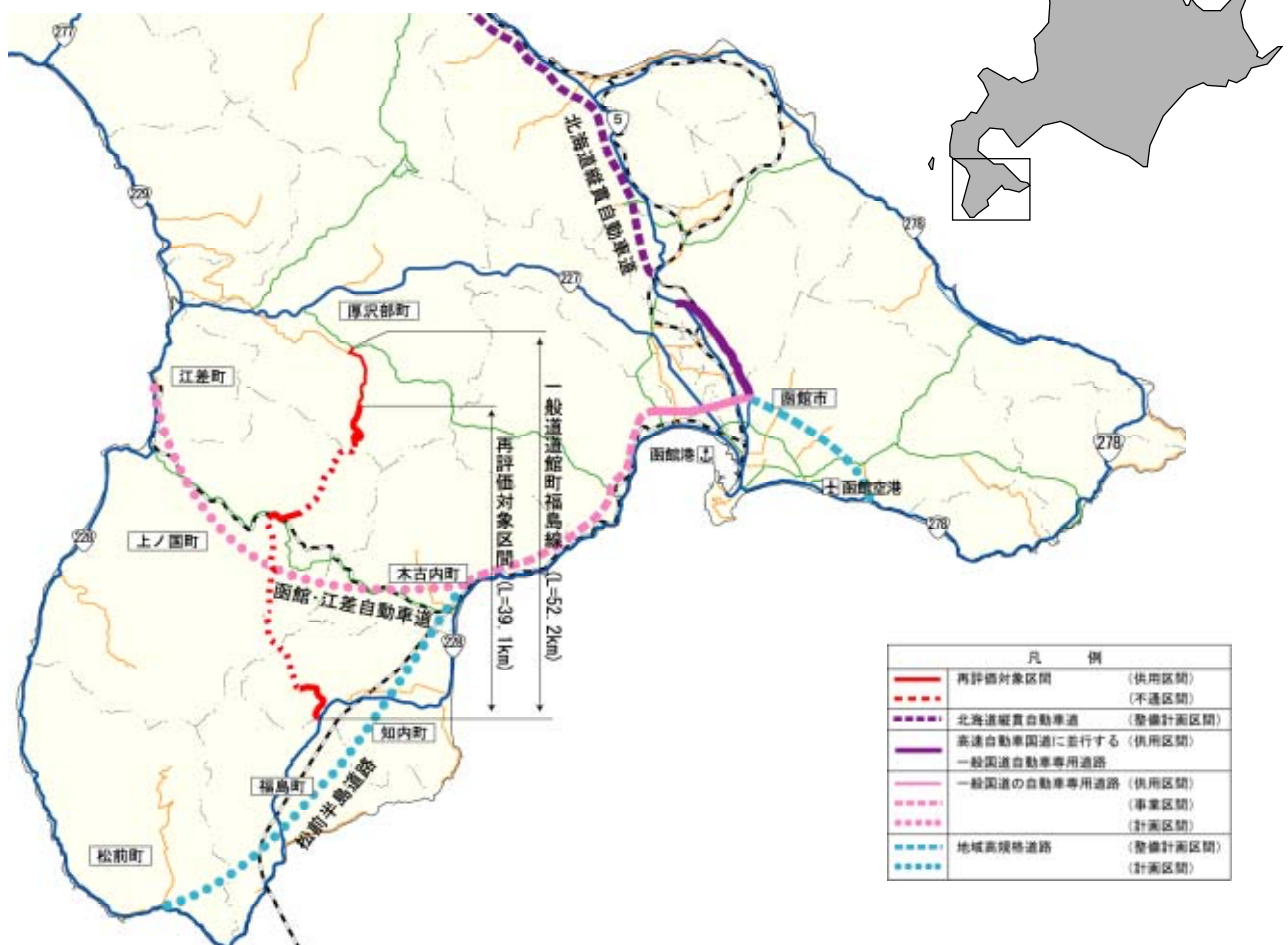
(1) 目的

- ・ 物流効率化の支援
- ・ 国土・地域のネットワークの構築
- ・ 個性ある地域の形成
- ・ 災害への備え

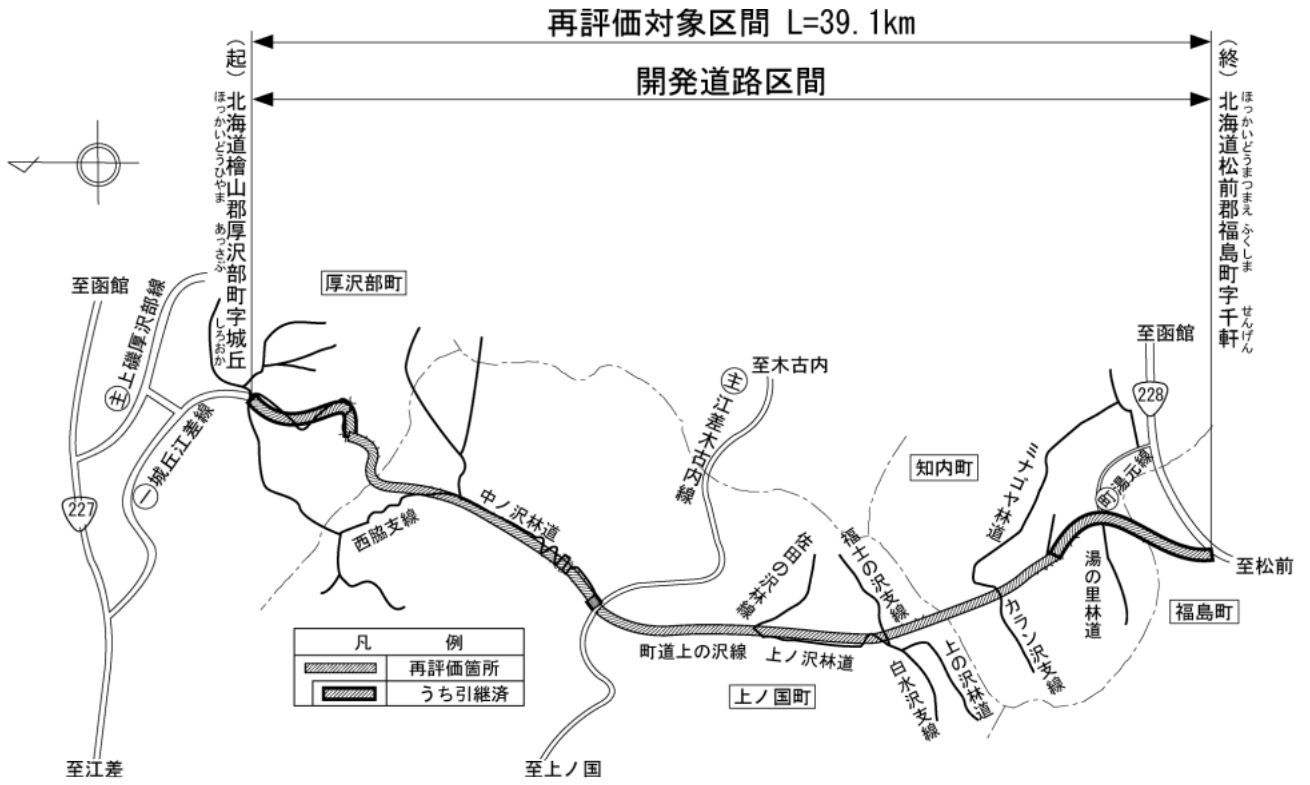
館町福島線は、厚沢部町と福島町を結ぶ延長約5.2kmの一般道道です。このうち厚沢部町字城丘から、福島町字千軒を結ぶ約3.9kmの区間が開発道路に指定されています。

当事業は、交通不能区間の解消を図り、檜山地域と渡島地域を結ぶことにより、林業・鉱業などの地域資源の開発を支援するほか、災害時の代替路及び観光ネットワークの形成を目的とした事業です。

■ 位置図



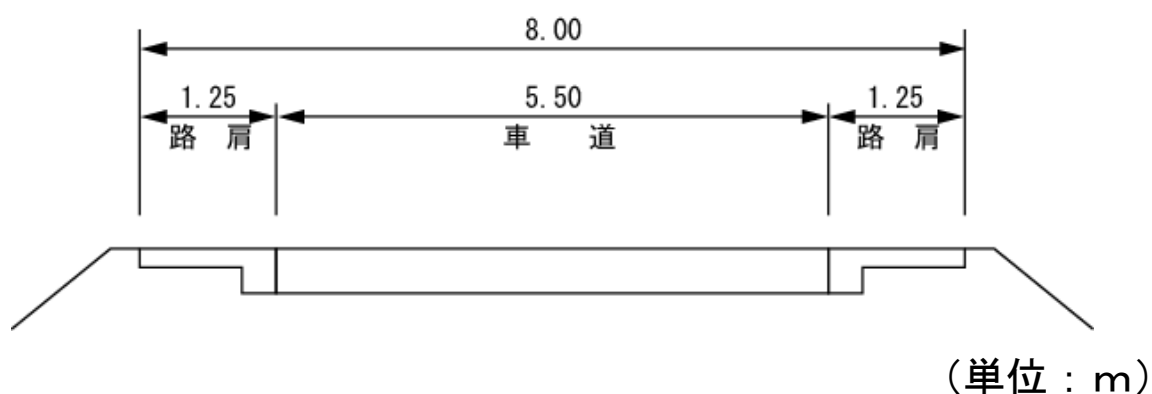
■事業概要図



(2) 計画の概要

- | | | |
|--------|-------|---|
| ① 起点 | ・ ・ ・ | ほっかいどうひやまぐんあつさぶちようあざしろおか
北海道檜山郡厚沢部町字城丘 |
| 終点 | ・ ・ ・ | ほっかいどうまつまえぐんふくしまちようあざせんげん
北海道松前郡福島町字千軒 |
| ② 計画延長 | ・ ・ ・ | 39.1 km |
| ③ 幅員 | ・ ・ ・ | 8.0 m |
| ④ 構造規格 | ・ ・ ・ | 3種4級 |
| ⑤ 設計速度 | ・ ・ ・ | 40 km/h |
| ⑥ 車線 | ・ ・ ・ | 2車線 |
| ⑦ 事業主体 | ・ ・ ・ | 北海道開発局 |

■標準横断図



(3) 経緯

- | | |
|----------|-------------|
| 昭和48年度 | 開発道路指定 |
| 昭和48年度 | 事業化 |
| 昭和49年度 | 用地補償着手 |
| | 工事着手 |
| 平成3～14年度 | L=9.4 km 引継 |

2. 事業の必要性等

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標
円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される
	□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる
	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる
物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
I 活力 都市の再生	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する
	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
	□ 中心市街地内で行う事業である
	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である
	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する
	□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上または16ha以上、大都市においては100戸以上または5ha以上）への連絡道路となる
国土地域のネットワークの構築	□ 地域高規格道路の位置づけあり
	□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
	■ 現道等における交通不能区間を解消する
	□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する
個性ある地域の形成	□ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する
	■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する
	■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される
II 暮らし 歩行者・自転車のための生活空間の形成	□ 特別立法に基づく事業である
	□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である
	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
	□ 交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される
無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化5カ年計画に位置づけあり
	□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する
	□ 二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
安全で安心できる暮らしの確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる
	□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される
III 安全 災害への備え	□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される
	■ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する
	□ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五カ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり
	□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
	□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される
	□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する
IV 環境 生活環境の改善	□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する
	□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動ができない地区が解消する
	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO ₂ 排出量
	● 現道等における自動車からのNO _x 排出削減率
V その他 他プロジェクトとの関係	● 現道等における自動車からのSPM排出削減率
	□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
	□ その他、環境や景観上の効果が期待される
その他	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている
	□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり
	□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている
	■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される

※●は定量的に評価を行なう指標

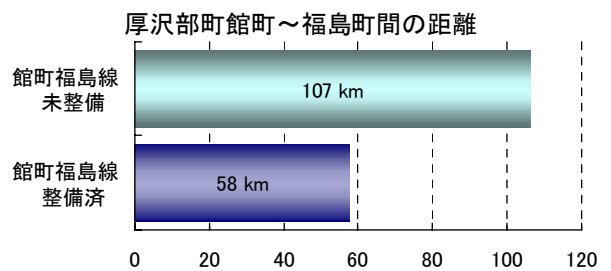
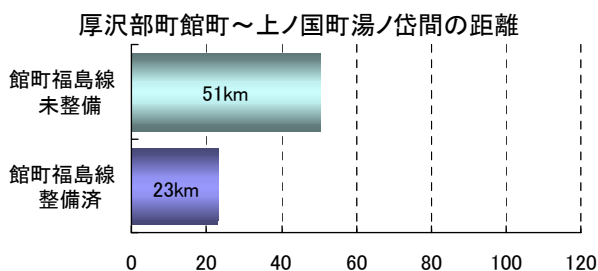
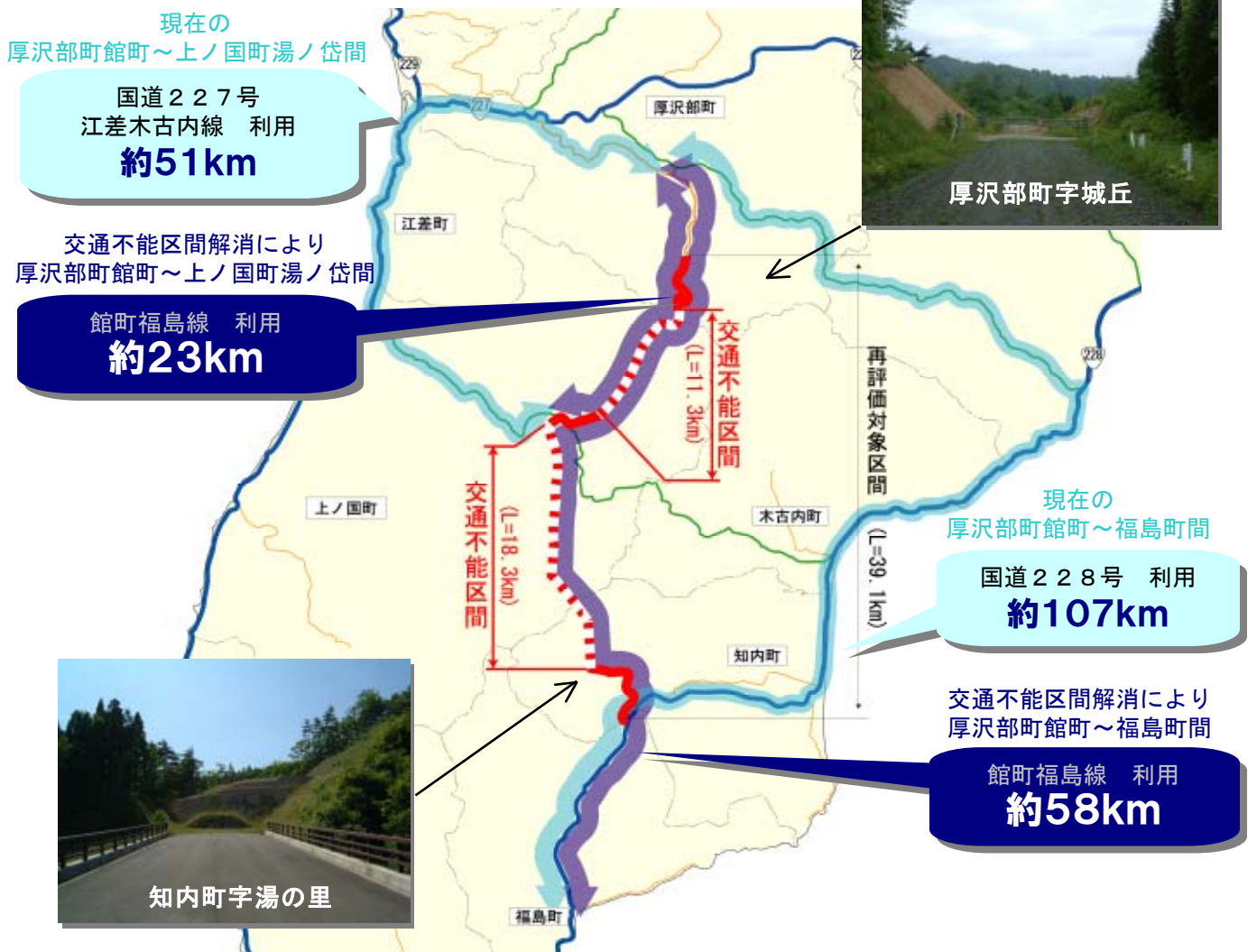
(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

客観的評価指標①

「現道等における交通不能区間を解消する」

当該路線の整備により、檜山南部の厚沢部町（国道227号）と渡島西部の福島町（国道228号）を連絡する館町福島線の交通不能区間が解消されるとともに、厚沢部町から上ノ国町、福島町への最短経路が形成されます。

■館町福島線の整備による交通不能区間の解消



資料：H11 交通センサス、函館開発建設部調べ

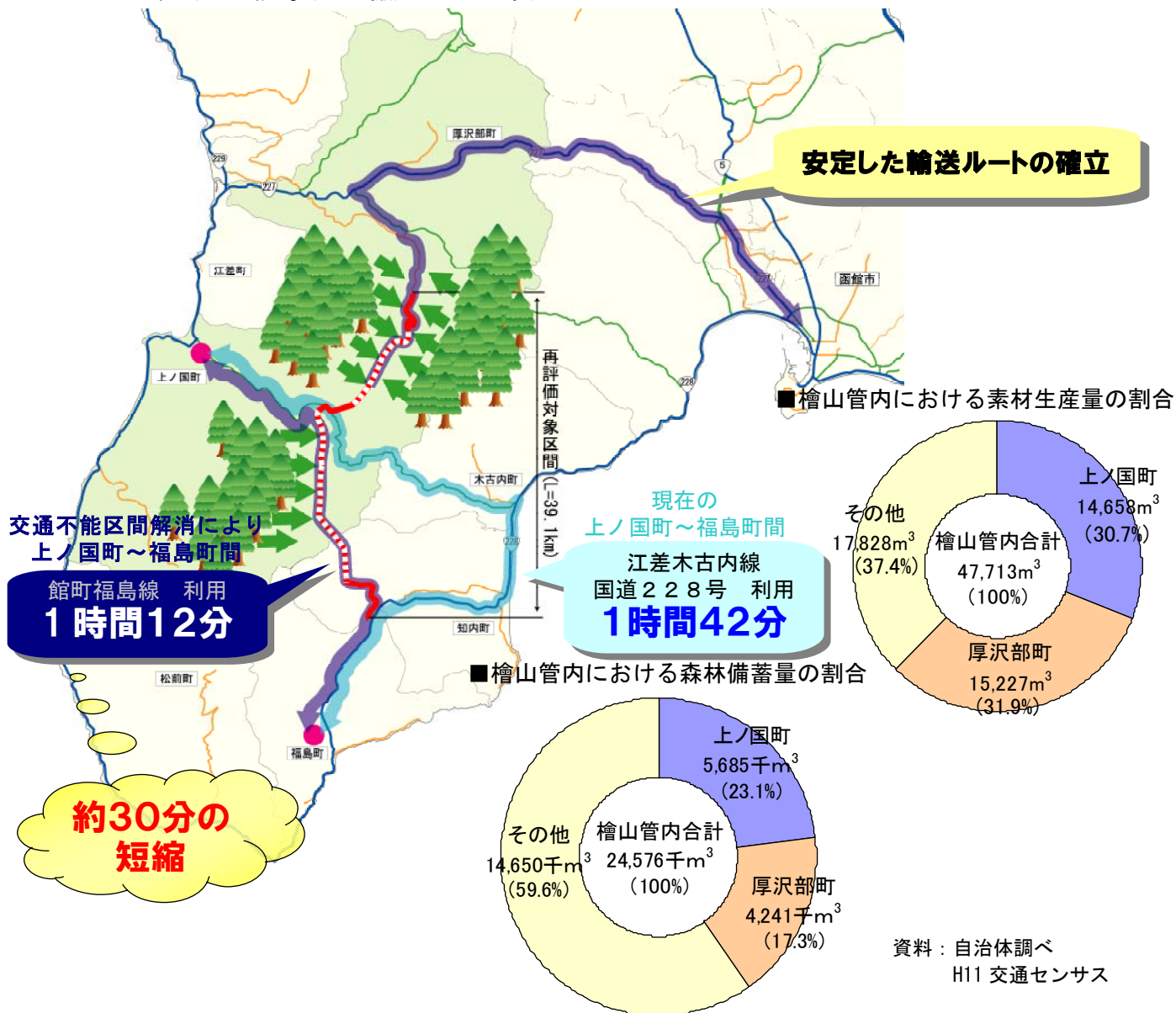
客観的評価指標②

「農林水産業を主体とする地域において、農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる」

館町福島線周辺に位置する厚沢部町及び上ノ国町では、道南杉やとど松などの豊富な木材資源に恵まれており、周辺2町合わせた素材生産量は年間3万 m^3 となっています。また、その出荷先は、函館市や福島町などへ運搬されています。

本路線の整備により、木材加工所のある厚沢部町・上ノ国町への原木の搬送や販売店のある函館市及び福島町への安定した輸送ルートが確立されるなど、林産物輸送の利便性向上が図られます。

■上ノ国町から福島町への搬送ルートの変化



客観的評価指標③

「主要な観光地へのアクセス向上が期待される」

江差町は、重要文化財旧中村家やかもめ島など多くの文化遺産や景勝地を有し、年間観光入込み客数が約50万人以上に達する道南圏の主要観光地のひとつです。

本路線の整備は、福島町から江差町への最短ルートを形成するほか、沿線地域特有の歴史的文化遗产や知内温泉、湯の岱温泉、館城温泉、俄虫温泉等の温泉地の直結と合わせた広域観光ネットワークの形成に寄与します。

■渡島～檜山の新たな観光ネットワークの構築



資料：平成15年度北海道観光入込客数調査自治体調べ

客観的評価指標④

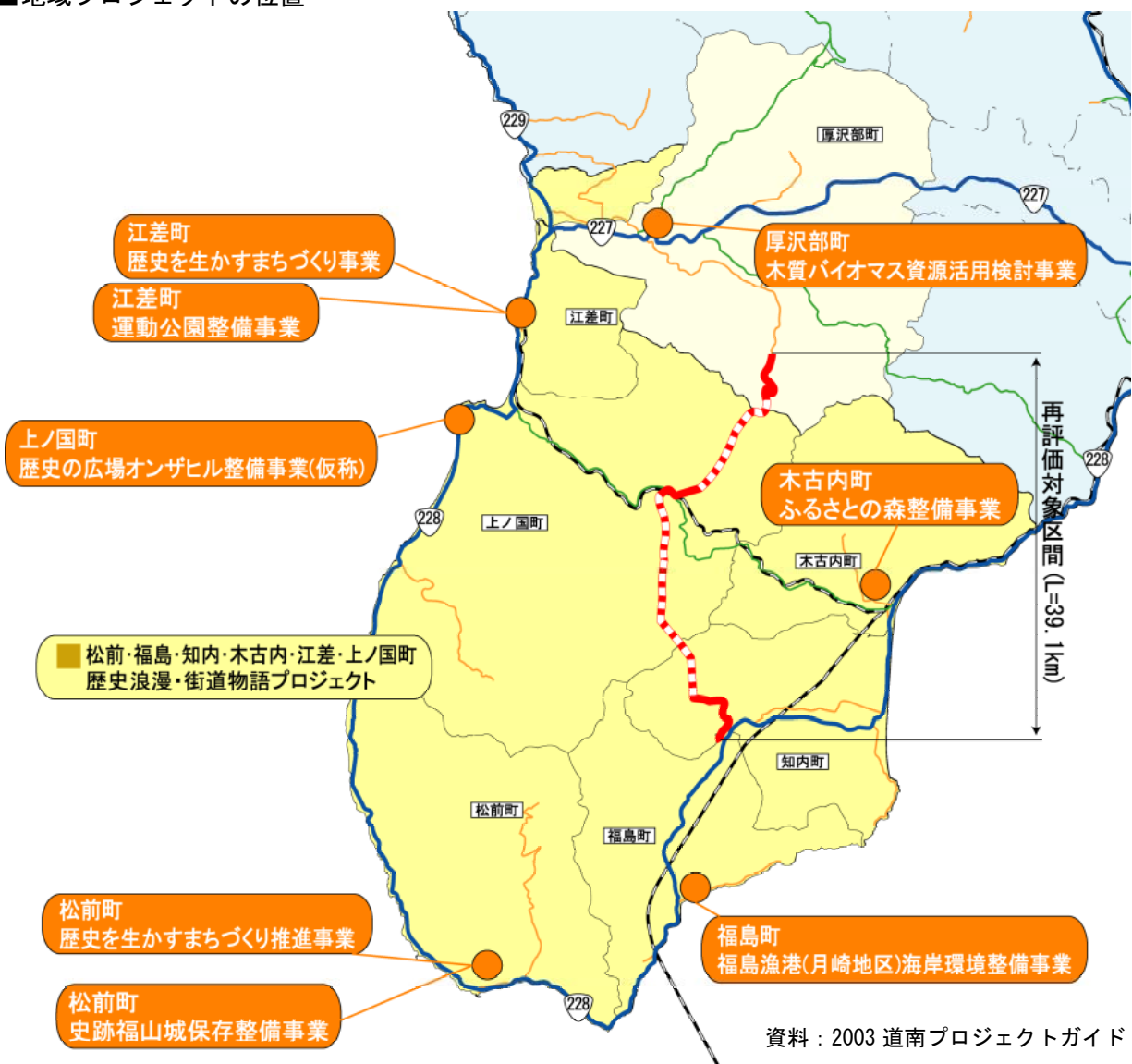
「拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する」

当該路線の周辺地域では、豊富な歴史や文化、自然資源を活かした地域プロジェクトが進められています。

本路線の整備により、これらの地域プロジェクトを交通面で支援し、多様なネットワークを形成します。

また、北海道がパートナーシップ・プロジェクトとして位置づけている「歴史浪漫・街道物語」プロジェクト（松前町、福島町、知内町、木古内町、江差町、上ノ国町が対象）の中で、本路線の整備が連携事業の1つとして挙げられています。

■地域プロジェクトの位置



■地域プロジェクトの概要

地域プロジェクト名	対象自治体	計画期間	プロジェクトの目的
歴史浪漫・街道物語プロジェクト	木古内町・知内町・福島町・松前町・上ノ国町・江差町	H14～H19	江戸時代以来の共通した歴史や伝統、文化を継承している6町（木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町）の文化や自然を活かし、圏域の連携と活性化を図る。
江差町歴史を生かすまちづくり事業	江差町	H元～H16	歴史的建造物の景観保全をはじめ古い建造物や街並みを生かして、新しい魅力をもったまちづくりを推進し、個性的で豊かな生活環境の創出を図る。
江差町運動公園整備事業	江差町	S62～H15	余暇時代の到来と高齢化の進展を踏まえ、運動施設やレクリエーション施設を整備し、町民憩いの場、近隣町村等との交流の場を創出する。
福島漁港海岸（月崎地区）環境整備事業	福島町	H5～H19	離岸堤の整備に併せて、人工海水浴場や海浜地を整備し、潤いのある海岸環境の創出、快適で活力ある漁村づくりを推進する。
木質バイオマス資源活用検討事業	厚沢部町	H13～H15	間伐による林地残材や製材工場から発生する端材等の未利用木質バイオマス資源の利用創造を図ることにより、雇用の創出等、地域振興を促し、循環型社会の形成を図る。
歴史の広場オンザヒル整備事業（仮称）	上ノ国町	H11～H20	国指定史跡上ノ国勝山館跡から発掘された遺物を公開活用して、各種整備事業を取り込んだ「歴史の広場オンザヒル」を整備し、学術面からの活用や観光と結びつけた地域の活性化を図る。
ふるさとの森整備事業	木古内町	H14～H18	町市街地近郊の萩山、薬師山において、「ふるさとの森」として整備するものであり、木古内町のシンボル及び町民の憩いの場とすべく、緑地、駐車場、トイレ、遊歩道を設置するため、補助事業等を要望しながら、整備を図る。
歴史を生かすまちづくり推進事業	松前町	H7～H18	人の遺産の保存、修復、活用にとどまらず、未来に向けた新しいまちづくりを図る。
史跡福山城保存整備事業	松前町	H9～H27	史跡福山城は道内唯一の城郭ですが、史跡内の乱開発が進み、貴重な文化遺産である史跡の破壊につながるおそれがあるため、平成9年策定の史跡福山城保存管理計画に基づき史跡の復元を図る。

資料：2003 道南プロジェクトガイド

客観的評価指標⑤

「近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する」

上ノ国町湯ノ岱・神明の2地区は、近隣の日常活動圏中心都市である函館市、江差町をはじめ、上ノ国町の中心市街地への移動ルートを道道江差木古内線に依存しています。異常気象時通行規制区間に指定されている道道江差木古内線は、過去5年間で4回の通行止めが発生し、湯ノ岱・神明地区が孤立しています。

当該路線の整備により、これらの孤立化の解消が見込まれます。

■ 孤立化する恐れのある集落



客観的評価指標⑥

「その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される」

■黒鉛珪石の安定供給

上ノ国町においては、鉱物資源である黒鉛珪石の採掘地があります。

当該路線の整備により、安定的かつ多様な輸送ルート確保により、これら地下資源の安定した供給に寄与します。

■黒鉛珪石の採掘地



<採掘業者の声>

将来的には、各方面での製品開発が進めば、大きな採掘需要・輸送需要が発生する可能性がある。

黒鉛珪石採掘地



黒鉛珪石とは

珪酸を主成分に、アルミナ、酸化鉄を含有する粉状・塊状の天然資源のひとつ。水質浄化剤や建築素材など、新素材として様々な用途に研究開発されている。

資料：H15 ヒアリング調査結果

客観的評価指標⑦

「その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される」

■農業、自然体験型観光等への取り組みを支援

館町福島線沿線では、農業を中心とした地域を舞台に、都市と農村の交流を深める「グリーン・ツーリズム」を展開しています。緑豊かな農村地域に滞在し、自然や農作業体験などを楽しむグリーン・ツーリズムは、農業、農村についての理解や農業地域の活性化を支援するものです。

当該事業は、上記の方策を交通面から支援し、個性ある地域の形成、活性化に寄与します。

■館町福島線沿線におけるグリーン・ツーリズムの展開



資料：グリーン・ツーリズム関連地域資源一覧 2004

(2) 事業の投資効果

費用便益分析の結果（事業全体）

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	219億円	44億円	263億円
基準年における 現在価値（C）	269億円	14億円	284億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成16年度			
単年便益 （初年度便益）	6億円	1億円	0億円	6億円
基準年における 現在価値（B）	75億円	8億円	1億円	84億円

③ 結果

費用便益費（B/C）	0.3
------------	-----

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益費（B/C）
交通量	600～900台/日	±10%	0.3～0.3
事業費	219億円	±10%	0.3～0.3
事業期間	42年	±9年	0.2～0.4

様式記入上の留意点

1. 費用及び便益額は整数止（費用・便益の額によって小数点以下2桁）とする。
2. 費用便益比は少数点以下1桁とする。
3. 単年便益（初年便益）は4月1日供用を前提として算出

費用便益分析の結果（残事業）

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	120億円	34億円	154億円
基準年における 現在価値（C）	93億円	11億円	104億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成16年度			
単年便益 （初年度便益）	6億円	1億円	0億円	6億円
基準年における 現在価値（B）	75億円	8億円	1億円	84億円

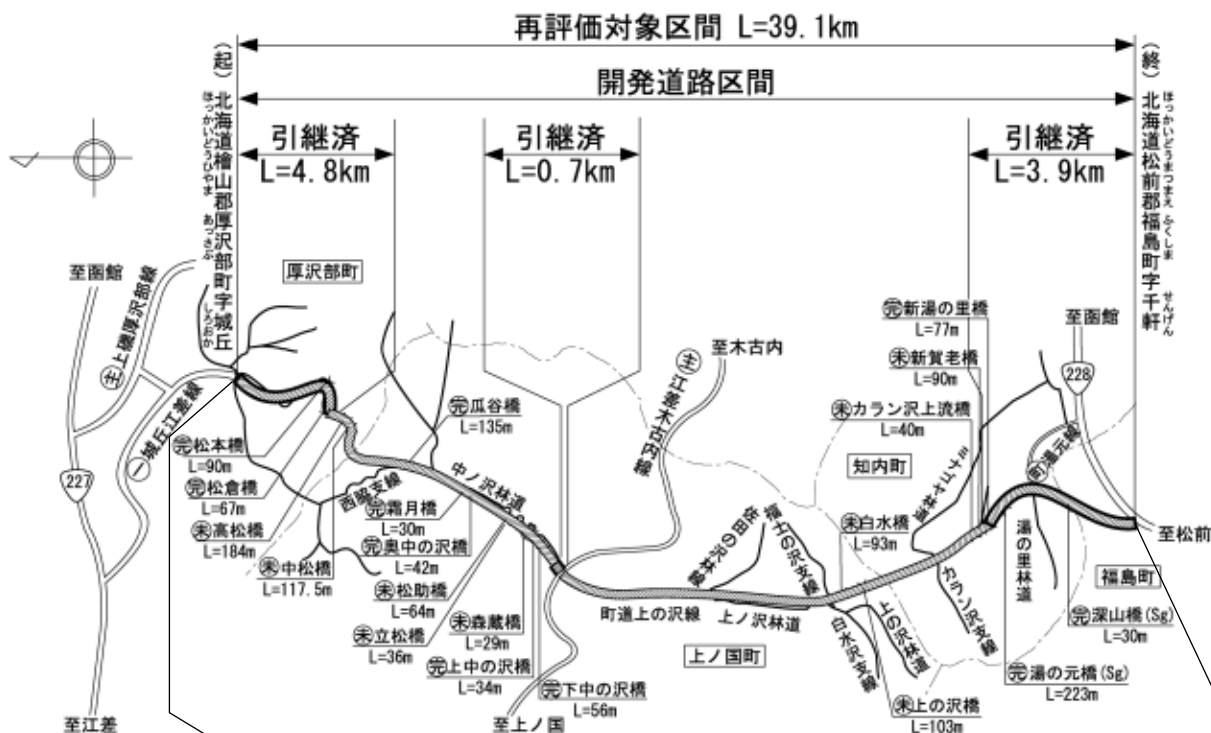
③ 結果

費用便益費（B／C）	0.8
------------	-----

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

(3) 事業の進捗状況

一般道道館町福島線は、平成16年度末で、用地進捗率56%、事業進捗率46%です。



設計	53%
測量・地質調査	53%
用地進捗率	56%
事業進捗率	46%

平成16年度末

※用地進捗率は用地補償費投入ベース

※事業進捗率は事業費投入ベース

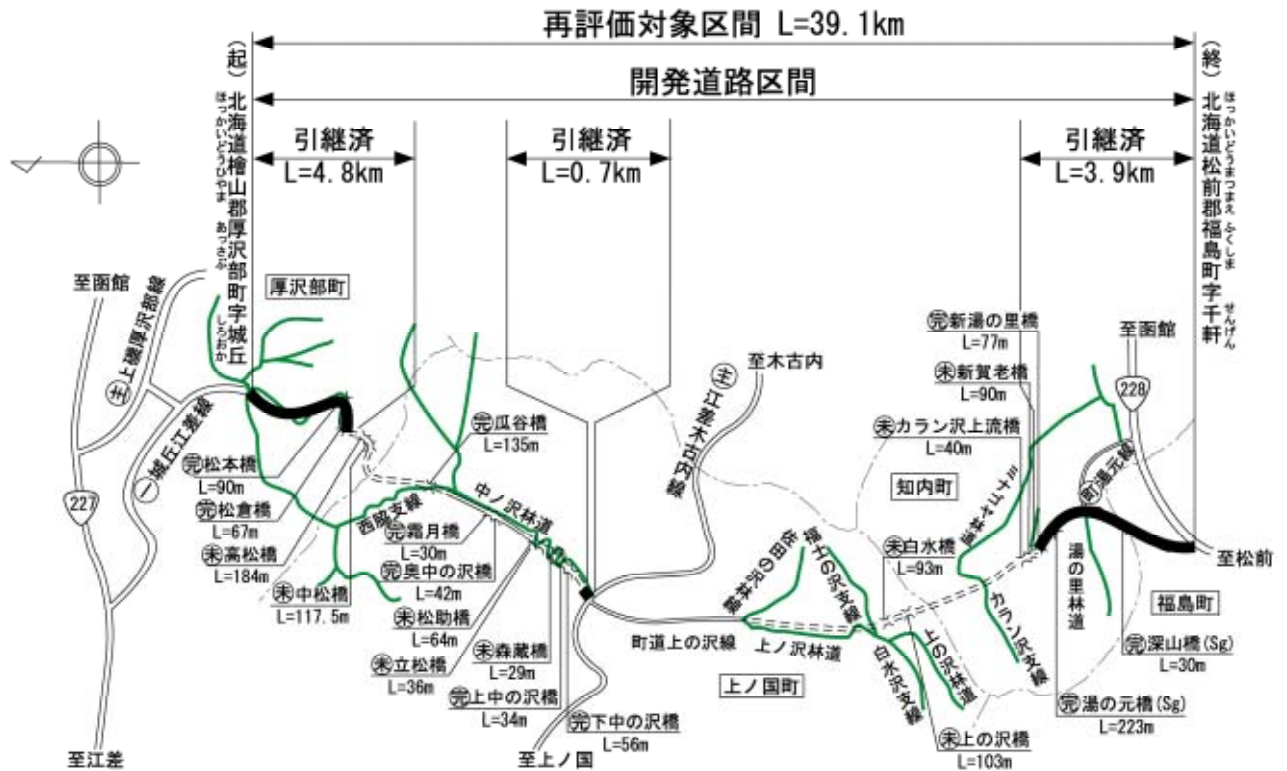
凡例：数字は進捗率

3. 事業の進捗の見込み

(1) 整備の現状

館町福島線は、昭和48年度に事業着手後、平成16年度までに延長約10kmを北海道に引き継いでいます。引継済み区間は、それぞれの区間とも林道に接続しております。

■整備の現状



(2) 進捗の見込み

当路線は、松前半島中央部を縦断し、現況河川沿いを通過するルートであるため、橋梁等の道路構造物が多い路線となっているとともに、ルート上に地滑り地形があることから、それらの対策も必要です。

これら地形条件や周辺環境などの現地条件を勘案すると、残りの区間29.7kmの完成までには最短でも10年以上の期間がかかるものと見込まれます。

また、地滑り対策等の不確定要素によっては、更なるコスト増や事業期間の延伸が懸念されます。

■進捗の見込み



4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

(1) 現在の計画

当該路線は、道路構造令に基づく第3種第4級（2車線、設計速度40km/h、総幅員8.0m（車道部5.5m））の道路として計画されています。

また、ルート選定については、施工性、走行性、経済性を考慮し、地形改変を最小化するルートを選定しています。

(2) 事業規模見直しの可能性

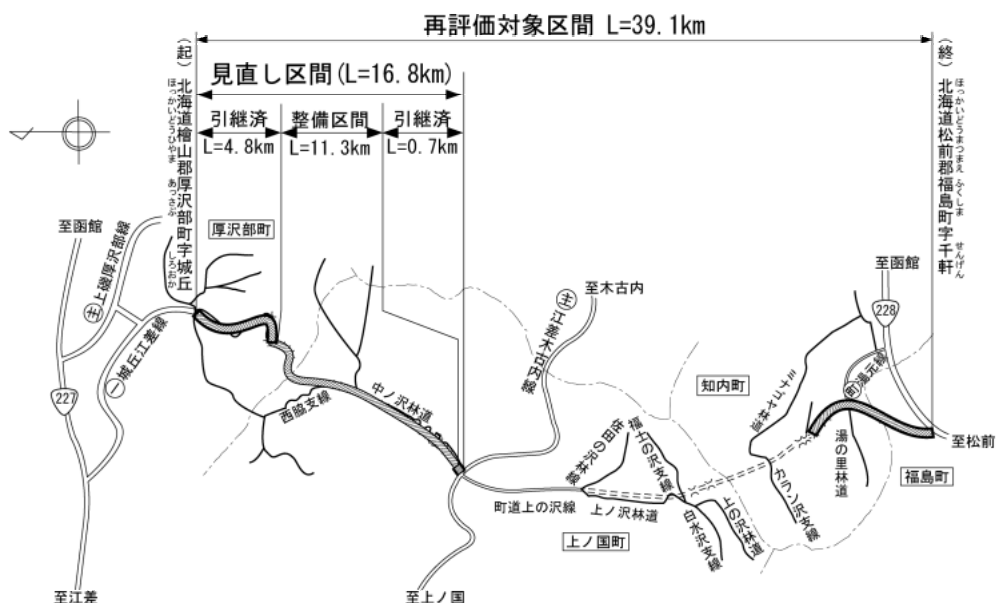
1) 事業区間見直し整備による代替の可能性

本路線の事業区間を厚沢部町字城丘から主要道道江差木古内線まで見直した場合、走行速度や冬期間の交通機能は確保されるものの、都市圏からのアクセス性に欠けるため交通需要が見込めず、また、工事完成には最短でも概ね10年以上の期間を要します。

以上より、上記代替案によって整備した場合、ある程度のコスト低減が可能となりますが、時間短縮効果が望めず、以下のとおり費用対効果が見込めません。

$$\text{費用便益比（残事業B/C）} = 0.8$$

■見直し区間



また、本路線の事業区間を主要道道江差木古内線から国道228号交点までに見直した場合も、時間短縮効果が望めず、以下のとおり費用対効果が見込めません。

$$\text{費用便益比（残事業 B / C）} = 0.1$$

■見直し区間



2) 1. 5車線による整備の可能性

既存林道を活用しローカルルールの導入による待避場や視距改良等による1.5車線整備が考えられます。

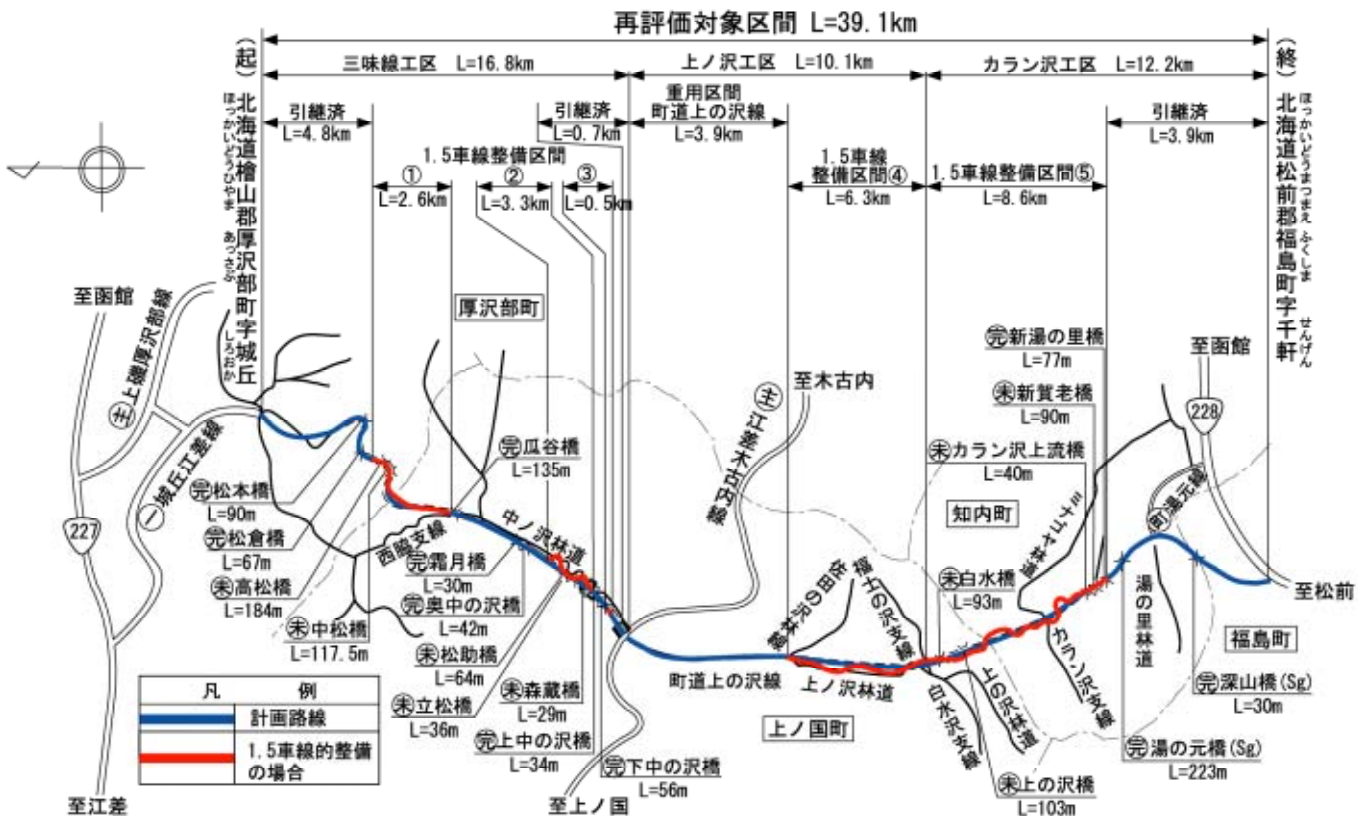
本路線を1.5車線整備した場合

- ① 1.5車線整備では走行速度が低下するため、時間短縮効果は見込めない。
- ② 1.5車線整備としても、河川沿いを通過するため、橋梁などの構造物を回避することは困難である。
- ③ 1.5車線整備としても、ルート上に地滑り地形があることから、対策工が必要となる。

以上より、上記代替案によって整備した場合、走行速度が低下し、交通需要が得られず、以下のとおり費用対効果が見込めません。

$$\text{費用便益比（残事業B/C）} = 0.1$$

■ 1.5車線の整備の可能性



(3) 周辺ネットワークの整備や既存道路の活用による代替の可能性

1) 周辺ネットワーク整備による代替の可能性

館町福島線が開発道路指定された当時に比べ、国道227号・国道228号・道道江差木古内線などの周辺道路の整備が、各箇所において進められています。

また、開発道路指定当時、道南圏で計画決定された高規格道路は北海道縦貫自動車道だけでしたが、現在では函館・江差自動車道、松前半島道路などが計画されていることから、これら高速ネットワークの整備を進めることにより、本路線周辺の道路ネットワーク機能の充実が期待されます。

2) 既存林道等の活用による代替の可能性

本路線沿いには、道道城丘江差線から道道江差木古内線の間において、既存の林道で通り抜けることが可能であり、また、道道江差木古内線からは、町道湯ノ岱上ノ沢線の活用も可能です。さらに、福島町側からは、引継区間から湯ノ里林道へ接続しております。

これらの有効活用により、湯ノ岱温泉への利用や森林管理、また自然体験型諸活動への活用など、今後多様な活用が考えられます。

■ 開発道路指定当時のネットワーク状況



■現在のネットワーク状況



■将来のネットワーク状況



5. 関係する地方公共団体等の意見

(1) 地元自治体の意見

〔厚沢部町、上ノ国町、知内町、福島町4町連名〕

地元自治体である厚沢部町、上ノ国町、知内町、福島町からは、「一般道道館町福島線については、沿線の林業・鉱業など地域資源の開発や広域的観光を支援するネットワークの形成、災害等により孤立化する集落の解消等の観点から地域として整備継続を要望するものであり、特に厚沢部町内においては、域内の国有林全般を管理する森林管理署があることから、森林管理上の必要性からも、早期整備を望むところである。

しかし、一方では、昨今の厳しい情勢等を勘案すると、事業の継続が困難な状況も理解できるため、今後は高速ネットワークなど函館都市圏との連携を強化する路線の整備とともに、社会情勢や経済情勢の変化等に応じ、地域の道路として将来的な整備に希望を持つものである。」との意見が出されています。

(2) 北海道知事の意見

北海道知事からは、「国、地方を問わず財政状況は一段と厳しさを増しており、また、公共投資においても、さらに縮減の動きがある中で、北海道における社会資本の整備を進めるにあたっては、これまで以上に事業の重点化・効率化を一層すすめて、早期に整備の効果を発現していくことが重要であると考えております。

道としては、地域間の交流・連携、自律的發展に不可欠な高規格幹線道路について重点的に整備促進を図るべきと考えている。」として、北海道開発局において進められている開発道路一般道道館町福島線の整備に関して下記の意見が出されています。

「一般道道館町福島線は、松前半島を縦断し、地域の連携・交流に寄与する路線であると認識している。

しかしながら、当路線の事業執行上の課題及び現在の事業の進捗状況等を勘案すると、事業の中止もやむを得ない。」

「渡島総合開発期成会」など地元自治体で構成する期成会が、整備促進の要望を行っています。

期成会名称	会長	主な構成メンバー	備考
渡島総合開発期成会	函館市長 井上博司	函館市、松前町、福島町、知内町、木古内町、上磯町、大野町、七飯町、戸井町、恵山町、楳法華村、南茅部町、鹿部町、砂原町、森町、八雲町、長万部町の首長及び議会議長	要望内容： 「地域内ネットワークを強化するため、早期整備を要望する」
檜山総合開発期成会	瀬棚町長 平田泰雄	江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、熊石町、大成町、奥尻町、瀬棚町、北檜山町、今金町の首長及び議会議長	要望内容： 「地域の一層の発展を図るとともに、住民が安心して暮らせるよう地域の生活の根幹となる道路整備の促進を要望する」

6. 対応方針

「国土交通省所管公共事業の再評価要領（平成15年3月31日）」に基づき、「事業の必要性等」「事業の進捗の見込み」「コスト縮減や代替案等の可能性」の評価の視点及び「関係地方公共団体等の意見」等を踏まえ、以下の通り対応方針を決定します。

（1）路線の状況

一般道道館町福島線は、檜山支庁管内厚沢部町から渡島支庁管内福島町に至る延長約52kmの道路であり、そのうち約39kmが開発道路に指定されています。

当該路線は国道227号、228号等の幹線道路網を拡充・補完するとともに、地域の森林資源及び農産品の流通支援、観光拠点の連携、災害時の代替路線の形成等を目的とした路線であり、平成15年度までに約9kmを北海道に引き継いでいます。

しかし、残る区間は、松前半島中央部を横断し、河川沿いを通過するルートのため、橋梁等の大規模構造物が多い路線となっておりとともに、地滑り地形が見られるなど現地の状況が厳しく、残事業量が多大であることから、今後の事業期間は最短でも約10年以上を要することが見込まれます。

また、今後の地すべり対策に関する不確定要素によっては、更に大きなコスト増及び事業期間の延伸も想定されるところです。

（2）再評価の検討事項

「事業の必要性及び事業進捗の見込み」の視点において、これらの条件を勘案すると、事業期間の短縮は難しく、早期完成が困難な上に、コスト及び事業期間に対する将来の不確実性も想定され、十分な費用対効果を得ることは難しい状況にあることから、今後の事業継続は困難な状況にあります。

「コスト縮減や代替案立案等の可能性」の視点においては、途中で交差接続する主要道道江差木古内線を境にした事業区間の見直しや、1.5車線の整備による抜本的な構造見直しを検討しましたが、交通需要及び

時間短縮効果が見込めないことや走行速度の低下などにより、投入費用に見合った便益を得る事ができず、有効な代替案とはなりませんでした。

一方「周辺ネットワークによる代替の可能性」の視点では、開発道路の指定当初から現在に至るまで、一般国道227号、228号、道道江差木古内線などの周辺道路の整備が進んでおり、現在は充実した幹線道路網が形成されています。また、将来は北海道縦貫自動車道、函館江差自動車道、松前半島道路の整備によって、周辺道路ネットワーク機能の更なる充実が期待されます。

(3) 対応方針

これらのことから、国においては一般道道館町福島線の開発道路としての事業を中止いたします。

なお、今後は関係地方公共団体等の意見をふまえ、本路線周辺の高速ネットワークの形成など、函館都市圏との連携を強化する路線の整備等について検討を進めることとします。

また、これまで国において整備が進められてきた道路施設については、既に北海道への引継ぎを済ませた区間以外の残る区間についても早急に北海道へ引継ぐこととします。

これにより、接続する道道江差木古内線、道道城丘江差線、町道湯ノ岱上の沢線、その他接続林道とともに、今後は、湯ノ岱温泉への利用、森林管理や間伐材の搬出、自然体験型諸活動への活用など、多岐に利活用することが可能と考えられます。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B Pの別
一般道道	館町福島線	L = 39.1 km	一次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
600 ~ 900	2	北海道開発局

費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	219億円	44億円	263億円
うち残事業分	120億円	34億円	154億円
基準年における 現在価値 (C)	269億円	14億円	284億円
うち残事業分	93億円	11億円	104億円

便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成16年度			
供 用 年	平成28年度			
単年便益 (初年便益)	6億円	1億円	0億円	6億円
基準年における 現在価値 (B)	75億円	8億円	1億円	84億円
うち残事業分	75億円	8億円	1億円	84億円

結 果

費用便益比 (事業全体)	0.3
費用便益比 (残事業)	0.8

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

感 度 分 析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B / C)
交通量	600 ~ 900	± 10%	0.3 ~ 0.3
事業費	219億円	± 10%	0.3 ~ 0.3
事業期間	42年	± 9年	0.2 ~ 0.4

様式記入上の留意点

1. 基準年は評価実施年度とする。
2. 費用及び便益額は整数止 (費用・便益の額によって小数点以下2桁) とする。
3. 費用便益比は小数点以下1桁とする。
4. 単年便益 (初年便益) は4月1日供用を前提として算出
5. 事後評価についても、本様式を用いる。

交通状況の変化

事業名：一般道道館町福島線（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 [バイパス等] : 39.1 km	交通量	[台/日]	0	700	
	走行時間	[分]	0	50	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	12.29	
主な周 辺道路	現道(国 道228号): 34.1 km	交通量	[台/日]	1,900	1,300
		走行時間	[分]	42	42
		走行時間費用	[億円/年]	27.21	18.50
	国道228 号 : 29.2 km	交通量	[台/日]	3,300	2,700
		走行時間	[分]	35	35
		走行時間費用	[億円/年]	36.36	29.63
	国道228 号 : 6.5 km	交通量	[台/日]	8,400	7,500
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	17.52	15.58
その他道路合計 : 21393.7 km	走行時間費用	[億円/年]	49139.17	49138.36	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計 : 21502.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	49220.26	49214.36	5.90

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：一般道道館町福島線（事業全体）

（推計時点 H42年）

【 図面（ 、 に該当する道路を明示すること）】



交通状況の変化

事業名：一般道道館町福島線（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 [バイパス等] : 39.1 km	交通量	[台/日]	0	700	
	走行時間	[分]	0	50	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	12.29	
主な周 辺道路	現道(国 道228号): 34.1 km	交通量	[台/日]	1,900	1,300
		走行時間	[分]	42	42
		走行時間費用	[億円/年]	27.21	18.50
	国道228 号 : 29.2 km	交通量	[台/日]	3,300	2,700
		走行時間	[分]	35	35
		走行時間費用	[億円/年]	36.36	29.63
	国道228 号 : 6.5 km	交通量	[台/日]	8,400	7,500
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	17.52	15.58
その他道路合計 : 21393.7 km	走行時間費用	[億円/年]	49139.17	49138.36	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計 : 21502.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	49220.26	49214.36	5.90

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：一般道道館町福島線（残事業）

（推計時点 H42年）

【 図面（ 、 に該当する道路を明示すること）】



費用便益分析の条件

事業名：館町福島線

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成16年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の場合	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。	
	その他()	<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表(全体事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般道道館町福島線

採用単価の根拠 実績値		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.03	39.1	1.17

年次	年度	割戻率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-42年目	H -14	3.2434	0.39	1.28	0.00	0.00
-41年目	H -13	3.1187	0.35	1.10	0.00	0.00
-40年目	H -12	2.9987	0.67	2.00	0.00	0.00
-39年目	H -11	2.8834	0.76	2.19	0.00	0.00
-38年目	H -10	2.7725	1.36	3.77	0.00	0.00
-37年目	H -9	2.6658	1.60	4.25	0.00	0.00
-36年目	H -8	2.5633	1.82	4.66	0.00	0.00
-35年目	H -7	2.4647	2.26	5.57	0.00	0.00
-34年目	H -6	2.3699	2.33	5.53	0.00	0.00
-33年目	H -5	2.2788	2.66	6.05	0.00	0.00
-32年目	H -4	2.1911	2.75	6.02	0.00	0.00
-31年目	H -3	2.1068	3.19	6.73	0.00	0.00
-30年目	H -2	2.0258	3.30	6.69	0.00	0.00
-29年目	H -1	1.9479	4.45	8.66	0.00	0.00
-28年目	H 0	1.8730	6.73	12.61	0.00	0.00
-27年目	H 1	1.8009	8.40	15.12	0.00	0.00
-26年目	H 2	1.7317	7.27	12.59	0.00	0.00
-25年目	H 3	1.6651	6.08	10.12	0.00	0.00
-24年目	H 4	1.6010	6.41	10.27	0.00	0.00
-23年目	H 5	1.5395	8.15	12.55	0.00	0.00
-22年目	H 6	1.4802	5.40	7.99	0.00	0.00
-21年目	H 7	1.4233	6.93	9.86	0.00	0.00
-20年目	H 8	1.3686	4.44	6.08	0.00	0.00
-19年目	H 9	1.3159	4.66	6.13	0.00	0.00
-18年目	H 10	1.2653	3.32	4.20	0.00	0.00
-17年目	H 11	1.2167	1.10	1.34	0.00	0.00
-16年目	H 12	1.1699	0.98	1.14	0.00	0.00
-15年目	H 13	1.1249	1.07	1.20	0.00	0.00
-14年目	H 14	1.0816	0.02	0.02	0.00	0.00
-13年目	H 15	1.0400	0.25	0.26	0.00	0.00
-12年目	H 16	1.0000	0.00	0.00	0.00	0.00
-11年目	H 17	0.9615	9.86	9.48	0.00	0.00
-10年目	H 18	0.9246	9.86	9.12	0.00	0.00
-9年目	H 19	0.8890	9.87	8.77	0.00	0.00
-8年目	H 20	0.8548	9.87	8.43	0.00	0.00
-7年目	H 21	0.8219	9.87	8.11	0.00	0.00
-6年目	H 22	0.7903	9.87	7.80	0.00	0.00
-5年目	H 23	0.7599	9.87	7.50	0.00	0.00
-4年目	H 24	0.7307	9.87	7.21	0.00	0.00
-3年目	H 25	0.7026	9.87	6.93	0.00	0.00
-2年目	H 26	0.6756	9.87	6.67	0.00	0.00
-1年目	H 27	0.6496	20.87	13.56	0.00	0.00
供用開始年次	H 28	0.6246	0.00	0.00	1.11	0.69
1年目	H 29	0.6006	0.00	0.00	1.11	0.67
2年目	H 30	0.5775	0.00	0.00	1.11	0.64
3年目	H 31	0.5553	0.00	0.00	1.11	0.62
4年目	H 32	0.5339	0.00	0.00	1.11	0.59
5年目	H 33	0.5134	0.00	0.00	1.11	0.57
6年目	H 34	0.4936	0.00	0.00	1.11	0.55
7年目	H 35	0.4746	0.00	0.00	1.11	0.53
8年目	H 36	0.4564	0.00	0.00	1.11	0.51
9年目	H 37	0.4388	0.00	0.00	1.11	0.49
10年目	H 38	0.4220	0.00	0.00	1.11	0.47
11年目	H 39	0.4057	0.00	0.00	1.11	0.45
12年目	H 40	0.3901	0.00	0.00	1.11	0.43
13年目	H 41	0.3751	0.00	0.00	1.11	0.42
14年目	H 42	0.3607	0.00	0.00	1.11	0.40
15年目	H 43	0.3468	0.00	0.00	1.11	0.38
16年目	H 44	0.3335	0.00	0.00	1.11	0.37
17年目	H 45	0.3207	0.00	0.00	1.11	0.36
18年目	H 46	0.3083	0.00	0.00	1.11	0.34
19年目	H 47	0.2965	0.00	0.00	1.11	0.33
20年目	H 48	0.2851	0.00	0.00	1.11	0.32
21年目	H 49	0.2741	0.00	0.00	1.11	0.30
22年目	H 50	0.2636	0.00	0.00	1.11	0.29
23年目	H 51	0.2534	0.00	0.00	1.11	0.28
24年目	H 52	0.2437	0.00	0.00	1.11	0.27
25年目	H 53	0.2343	0.00	0.00	1.11	0.26
26年目	H 54	0.2253	0.00	0.00	1.11	0.25
27年目	H 55	0.2166	0.00	0.00	1.11	0.24
28年目	H 56	0.2083	0.00	0.00	1.11	0.23
29年目	H 57	0.2003	0.00	0.00	1.11	0.22
30年目	H 58	0.1926	0.00	0.00	1.11	0.21
31年目	H 59	0.1852	0.00	0.00	1.11	0.21
32年目	H 60	0.1780	0.00	0.00	1.11	0.20
33年目	H 61	0.1712	0.00	0.00	1.11	0.19
34年目	H 62	0.1646	0.00	0.00	1.11	0.18
35年目	H 63	0.1583	0.00	0.00	1.11	0.18
36年目	H 64	0.1522	0.00	0.00	1.11	0.17
37年目	H 65	0.1463	0.00	0.00	1.11	0.16
38年目	H 66	0.1407	0.00	0.00	1.11	0.16
39年目	H 67	0.1353	0.00	-0.22	1.11	0.15
合計			218.63	269.35	44.40	14.28
単純事業費計			218.63		44.40	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般道道館町福島線

採用単価の根拠 実績値		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.03	29.7	0.89

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-11年目	H 17	0.9615	9.86	9.48	0.00	0.00
-10年目	H 18	0.9246	9.86	9.12	0.00	0.00
-9年目	H 19	0.8890	9.87	8.77	0.00	0.00
-8年目	H 20	0.8548	9.87	8.43	0.00	0.00
-7年目	H 21	0.8219	9.87	8.11	0.00	0.00
-6年目	H 22	0.7903	9.87	7.80	0.00	0.00
-5年目	H 23	0.7599	9.87	7.50	0.00	0.00
-4年目	H 24	0.7307	9.87	7.21	0.00	0.00
-3年目	H 25	0.7026	9.87	6.93	0.00	0.00
-2年目	H 26	0.6756	9.87	6.67	0.00	0.00
-1年目	H 27	0.6496	20.87	13.56	0.00	0.00
供用開始年次	H 28	0.6246	0.00	0.00	0.85	0.53
1年目	H 29	0.6006	0.00	0.00	0.85	0.51
2年目	H 30	0.5775	0.00	0.00	0.85	0.49
3年目	H 31	0.5553	0.00	0.00	0.85	0.47
4年目	H 32	0.5339	0.00	0.00	0.85	0.45
5年目	H 33	0.5134	0.00	0.00	0.85	0.44
6年目	H 34	0.4936	0.00	0.00	0.85	0.42
7年目	H 35	0.4746	0.00	0.00	0.85	0.40
8年目	H 36	0.4564	0.00	0.00	0.85	0.39
9年目	H 37	0.4388	0.00	0.00	0.85	0.37
10年目	H 38	0.4220	0.00	0.00	0.85	0.36
11年目	H 39	0.4057	0.00	0.00	0.85	0.34
12年目	H 40	0.3901	0.00	0.00	0.85	0.33
13年目	H 41	0.3751	0.00	0.00	0.85	0.32
14年目	H 42	0.3607	0.00	0.00	0.85	0.31
15年目	H 43	0.3468	0.00	0.00	0.85	0.29
16年目	H 44	0.3335	0.00	0.00	0.85	0.28
17年目	H 45	0.3207	0.00	0.00	0.85	0.27
18年目	H 46	0.3083	0.00	0.00	0.85	0.26
19年目	H 47	0.2965	0.00	0.00	0.85	0.25
20年目	H 48	0.2851	0.00	0.00	0.85	0.24
21年目	H 49	0.2741	0.00	0.00	0.85	0.23
22年目	H 50	0.2636	0.00	0.00	0.85	0.22
23年目	H 51	0.2534	0.00	0.00	0.85	0.22
24年目	H 52	0.2437	0.00	0.00	0.85	0.21
25年目	H 53	0.2343	0.00	0.00	0.85	0.20
26年目	H 54	0.2253	0.00	0.00	0.85	0.19
27年目	H 55	0.2166	0.00	0.00	0.85	0.18
28年目	H 56	0.2083	0.00	0.00	0.85	0.18
29年目	H 57	0.2003	0.00	0.00	0.85	0.17
30年目	H 58	0.1926	0.00	0.00	0.85	0.16
31年目	H 59	0.1852	0.00	0.00	0.85	0.16
32年目	H 60	0.1780	0.00	0.00	0.85	0.15
33年目	H 61	0.1712	0.00	0.00	0.85	0.15
34年目	H 62	0.1646	0.00	0.00	0.85	0.14
35年目	H 63	0.1583	0.00	0.00	0.85	0.13
36年目	H 64	0.1522	0.00	0.00	0.85	0.13
37年目	H 65	0.1463	0.00	0.00	0.85	0.12
38年目	H 66	0.1407	0.00	0.00	0.85	0.12
39年目	H 67	0.1353	0.00	-0.11	0.85	0.12
合計			119.54	93.48	34.00	10.90

単純事業費計	119.54	34.00
--------	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表(全体事業)

箇所名:一般道道館町福島線

年次	年度 (基準年) H16	総走行台キロの年次別伸び率 (北海道ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)					事故損出費用(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 28	1.00689	0.99732	1.00453	0.6246	5.54	0.00	0.12	0.13	5.78	3.61	0.57	0.00	0.00	0.02	0.59	0.37	0.08	0.05	6.45	4.03
1年目	H 29	1.00684	0.99731	1.00451	0.6006	5.57	0.00	0.12	0.13	5.82	3.50	0.58	0.00	0.00	0.02	0.59	0.36	0.08	0.05	6.49	3.90
2年目	H 30	1.00679	0.99731	1.00449	0.5775	5.61	0.00	0.12	0.13	5.86	3.38	0.58	0.00	0.00	0.02	0.60	0.34	0.08	0.04	6.53	3.77
3年目	H 31	1.00675	0.99730	1.00447	0.5553	5.65	0.00	0.12	0.13	5.89	3.27	0.58	0.00	0.00	0.02	0.60	0.33	0.08	0.04	6.57	3.65
4年目	H 32	1.00670	0.99729	1.00445	0.5339	5.69	0.00	0.12	0.13	5.93	3.17	0.59	0.00	0.00	0.02	0.60	0.32	0.08	0.04	6.61	3.53
5年目	H 33	0.99969	0.99414	0.99837	0.5134	5.69	0.00	0.12	0.12	5.93	3.04	0.59	0.00	0.00	0.02	0.60	0.31	0.08	0.04	6.61	3.39
6年目	H 34	0.99969	0.99410	0.99837	0.4936	5.68	0.00	0.12	0.12	5.93	2.92	0.59	0.00	0.00	0.02	0.60	0.30	0.08	0.04	6.61	3.26
7年目	H 35	0.99969	0.99407	0.99837	0.4746	5.68	0.00	0.12	0.12	5.92	2.81	0.59	0.00	0.00	0.02	0.60	0.29	0.08	0.04	6.60	3.13
8年目	H 36	0.99969	0.99403	0.99837	0.4564	5.68	0.00	0.12	0.12	5.92	2.70	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.28	0.08	0.04	6.60	3.01
9年目	H 37	0.99969	0.99400	0.99836	0.4388	5.68	0.00	0.12	0.12	5.92	2.60	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.26	0.08	0.03	6.60	2.89
10年目	H 38	0.99969	0.99396	0.99836	0.4220	5.68	0.00	0.11	0.12	5.91	2.50	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.25	0.08	0.03	6.59	2.78
11年目	H 39	0.99969	0.99392	0.99836	0.4057	5.68	0.00	0.11	0.12	5.91	2.40	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.24	0.08	0.03	6.59	2.67
12年目	H 40	0.99969	0.99389	0.99835	0.3901	5.67	0.00	0.11	0.12	5.91	2.30	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.23	0.08	0.03	6.59	2.57
13年目	H 41	0.99969	0.99385	0.99835	0.3751	5.67	0.00	0.11	0.12	5.90	2.21	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.23	0.08	0.03	6.58	2.47
14年目	H 42	0.99969	0.99381	0.99835	0.3607	5.67	0.00	0.11	0.12	5.90	2.13	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.22	0.08	0.03	6.58	2.37
15年目	H 43	0.99801	0.99542	0.99743	0.3468	5.66	0.00	0.11	0.12	5.89	2.04	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.21	0.08	0.03	6.56	2.28
16年目	H 44	0.99801	0.99540	0.99742	0.3335	5.65	0.00	0.11	0.12	5.88	1.96	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.20	0.08	0.03	6.55	2.18
17年目	H 45	0.99801	0.99538	0.99741	0.3207	5.64	0.00	0.11	0.12	5.86	1.88	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.19	0.08	0.02	6.54	2.10
18年目	H 46	0.99800	0.99536	0.99741	0.3083	5.63	0.00	0.11	0.12	5.85	1.80	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.18	0.08	0.02	6.52	2.01
19年目	H 47	0.99800	0.99534	0.99740	0.2965	5.61	0.00	0.11	0.12	5.84	1.73	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.18	0.08	0.02	6.51	1.93
20年目	H 48	0.99799	0.99531	0.99739	0.2851	5.60	0.00	0.11	0.11	5.83	1.66	0.58	0.00	0.00	0.01	0.59	0.17	0.08	0.02	6.50	1.85
21年目	H 49	0.99799	0.99529	0.99738	0.2741	5.59	0.00	0.11	0.11	5.81	1.59	0.58	0.00	0.00	0.01	0.59	0.16	0.08	0.02	6.48	1.78
22年目	H 50	0.99799	0.99527	0.99738	0.2636	5.58	0.00	0.11	0.11	5.80	1.53	0.58	0.00	0.00	0.01	0.59	0.16	0.08	0.02	6.47	1.71
23年目	H 51	0.99798	0.99525	0.99737	0.2534	5.57	0.00	0.11	0.11	5.79	1.47	0.58	0.00	0.00	0.01	0.59	0.15	0.07	0.02	6.45	1.64
24年目	H 52	0.99798	0.99522	0.99736	0.2437	5.56	0.00	0.11	0.11	5.78	1.41	0.57	0.00	0.00	0.01	0.59	0.14	0.07	0.02	6.44	1.57
25年目	H 53	0.99706	0.99834	0.99734	0.2343	5.54	0.00	0.11	0.11	5.76	1.35	0.57	0.00	0.00	0.01	0.59	0.14	0.07	0.02	6.42	1.50
26年目	H 54	0.99705	0.99834	0.99734	0.2253	5.53	0.00	0.11	0.11	5.74	1.29	0.57	0.00	0.00	0.01	0.59	0.13	0.07	0.02	6.40	1.44
27年目	H 55	0.99704	0.99834	0.99733	0.2166	5.51	0.00	0.11	0.11	5.73	1.24	0.57	0.00	0.00	0.01	0.58	0.13	0.07	0.02	6.39	1.38
28年目	H 56	0.99703	0.99833	0.99732	0.2083	5.49	0.00	0.11	0.11	5.71	1.19	0.57	0.00	0.00	0.01	0.58	0.12	0.07	0.02	6.37	1.33
29年目	H 57	0.99702	0.99833	0.99732	0.2003	5.48	0.00	0.11	0.11	5.69	1.14	0.57	0.00	0.00	0.01	0.58	0.12	0.07	0.01	6.35	1.27
30年目	H 58	0.99701	0.99833	0.99731	0.1926	5.46	0.00	0.11	0.11	5.68	1.09	0.56	0.00	0.00	0.01	0.58	0.11	0.07	0.01	6.33	1.22
31年目	H 59	0.99700	0.99833	0.99730	0.1852	5.44	0.00	0.11	0.11	5.66	1.05	0.56	0.00	0.00	0.01	0.58	0.11	0.07	0.01	6.31	1.17
32年目	H 60	0.99700	0.99832	0.99729	0.1780	5.43	0.00	0.11	0.11	5.64	1.00	0.56	0.00	0.00	0.01	0.58	0.10	0.07	0.01	6.29	1.12
33年目	H 61	0.99699	0.99832	0.99729	0.1712	5.41	0.00	0.11	0.11	5.63	0.96	0.56	0.00	0.00	0.01	0.57	0.10	0.07	0.01	6.27	1.07
34年目	H 62	0.99698	0.99832	0.99728	0.1646	5.39	0.00	0.10	0.11	5.61	0.92	0.56	0.00	0.00	0.01	0.57	0.09	0.07	0.01	6.25	1.03
35年目	H 63	0.99697	0.99831	0.99727	0.1583	5.38	0.00	0.10	0.11	5.59	0.89	0.56	0.00	0.00	0.01	0.57	0.09	0.07	0.01	6.24	0.99
36年目	H 64	0.99696	0.99831	0.99726	0.1522	5.36	0.00	0.10	0.11	5.58	0.85	0.55	0.00	0.00	0.01	0.57	0.09	0.07	0.01	6.22	0.95
37年目	H 65	0.99695	0.99831	0.99726	0.1463	5.35	0.00	0.10	0.11	5.56	0.81	0.55	0.00	0.00	0.01	0.57	0.08	0.07	0.01	6.20	0.91
38年目	H 66	0.99694	0.99831	0.99725	0.1407	5.33	0.00	0.10	0.11	5.54	0.78	0.55	0.00	0.00	0.01	0.57	0.08	0.07	0.01	6.18	0.87
39年目	H 67	0.99693	0.99830	0.99724	0.1353	5.31	0.00	0.10	0.11	5.53	0.75	0.55	0.00	0.00	0.01	0.56	0.08	0.07	0.01	6.16	0.83
合計						222.34	0.00	4.41	4.65	231.40	74.94	22.98	0.00	0.05	0.57	23.60	7.64	3.01	0.98	258.01	83.56

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般道道館町福島線

年次	年度 (基準年) H16	総走行台キロの年次別伸び率 (北海道ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)					事故損出費用(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 28	1.00689	0.99732	1.00453	0.6246	5.54	0.00	0.12	0.13	5.78	3.61	0.57	0.00	0.00	0.02	0.59	0.37	0.08	0.05	6.45	4.03
1年目	H 29	1.00684	0.99731	1.00451	0.6006	5.57	0.00	0.12	0.13	5.82	3.50	0.58	0.00	0.00	0.02	0.59	0.36	0.08	0.05	6.49	3.90
2年目	H 30	1.00679	0.99731	1.00449	0.5775	5.61	0.00	0.12	0.13	5.86	3.38	0.58	0.00	0.00	0.02	0.60	0.34	0.08	0.04	6.53	3.77
3年目	H 31	1.00675	0.99730	1.00447	0.5553	5.65	0.00	0.12	0.13	5.89	3.27	0.58	0.00	0.00	0.02	0.60	0.33	0.08	0.04	6.57	3.65
4年目	H 32	1.00670	0.99729	1.00445	0.5339	5.69	0.00	0.12	0.13	5.93	3.17	0.59	0.00	0.00	0.02	0.60	0.32	0.08	0.04	6.61	3.53
5年目	H 33	0.99969	0.99414	0.99837	0.5134	5.69	0.00	0.12	0.12	5.93	3.04	0.59	0.00	0.00	0.02	0.60	0.31	0.08	0.04	6.61	3.39
6年目	H 34	0.99969	0.99410	0.99837	0.4936	5.68	0.00	0.12	0.12	5.93	2.92	0.59	0.00	0.00	0.02	0.60	0.30	0.08	0.04	6.61	3.26
7年目	H 35	0.99969	0.99407	0.99837	0.4746	5.68	0.00	0.12	0.12	5.92	2.81	0.59	0.00	0.00	0.02	0.60	0.29	0.08	0.04	6.60	3.13
8年目	H 36	0.99969	0.99403	0.99837	0.4564	5.68	0.00	0.12	0.12	5.92	2.70	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.28	0.08	0.04	6.60	3.01
9年目	H 37	0.99969	0.99400	0.99836	0.4388	5.68	0.00	0.12	0.12	5.92	2.60	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.26	0.08	0.03	6.60	2.89
10年目	H 38	0.99969	0.99396	0.99836	0.4220	5.68	0.00	0.11	0.12	5.91	2.50	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.25	0.08	0.03	6.59	2.78
11年目	H 39	0.99969	0.99392	0.99836	0.4057	5.68	0.00	0.11	0.12	5.91	2.40	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.24	0.08	0.03	6.59	2.67
12年目	H 40	0.99969	0.99389	0.99835	0.3901	5.67	0.00	0.11	0.12	5.91	2.30	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.23	0.08	0.03	6.59	2.57
13年目	H 41	0.99969	0.99385	0.99835	0.3751	5.67	0.00	0.11	0.12	5.90	2.21	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.23	0.08	0.03	6.58	2.47
14年目	H 42	0.99969	0.99381	0.99835	0.3607	5.67	0.00	0.11	0.12	5.90	2.13	0.59	0.00	0.00	0.01	0.60	0.22	0.08	0.03	6.58	2.37
15年目	H 43	0.99801	0.99542	0.99743	0.3468	5.66	0.00	0.11	0.12	5.89	2.04	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.21	0.08	0.03	6.56	2.28
16年目	H 44	0.99801	0.99540	0.99742	0.3335	5.65	0.00	0.11	0.12	5.88	1.96	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.20	0.08	0.03	6.55	2.18
17年目	H 45	0.99801	0.99538	0.99741	0.3207	5.64	0.00	0.11	0.12	5.86	1.88	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.19	0.08	0.02	6.54	2.10
18年目	H 46	0.99800	0.99536	0.99741	0.3083	5.63	0.00	0.11	0.12	5.85	1.80	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.18	0.08	0.02	6.52	2.01
19年目	H 47	0.99800	0.99534	0.99740	0.2965	5.61	0.00	0.11	0.12	5.84	1.73	0.58	0.00	0.00	0.01	0.60	0.18	0.08	0.02	6.51	1.93
20年目	H 48	0.99799	0.99531	0.99739	0.2851	5.60	0.00	0.11	0.11	5.83	1.66	0.58	0.00	0.00	0.01	0.59	0.17	0.08	0.02	6.50	1.85
21年目	H 49	0.99799	0.99529	0.99738	0.2741	5.59	0.00	0.11	0.11	5.81	1.59	0.58	0.00	0.00	0.01	0.59	0.16	0.08	0.02	6.48	1.78
22年目	H 50	0.99799	0.99527	0.99738	0.2636	5.58	0.00	0.11	0.11	5.80	1.53	0.58	0.00	0.00	0.01	0.59	0.16	0.08	0.02	6.47	1.71
23年目	H 51	0.99798	0.99525	0.99737	0.2534	5.57	0.00	0.11	0.11	5.79	1.47	0.58	0.00	0.00	0.01	0.59	0.15	0.07	0.02	6.45	1.64
24年目	H 52	0.99798	0.99522	0.99736	0.2437	5.56	0.00	0.11	0.11	5.78	1.41	0.57	0.00	0.00	0.01	0.59	0.14	0.07	0.02	6.44	1.57
25年目	H 53	0.99706	0.99834	0.99734	0.2343	5.54	0.00	0.11	0.11	5.76	1.35	0.57	0.00	0.00	0.01	0.59	0.14	0.07	0.02	6.42	1.50
26年目	H 54	0.99705	0.99834	0.99734	0.2253	5.53	0.00	0.11	0.11	5.74	1.29	0.57	0.00	0.00	0.01	0.59	0.13	0.07	0.02	6.40	1.44
27年目	H 55	0.99704	0.99834	0.99733	0.2166	5.51	0.00	0.11	0.11	5.73	1.24	0.57	0.00	0.00	0.01	0.58	0.13	0.07	0.02	6.39	1.38
28年目	H 56	0.99703	0.99833	0.99732	0.2083	5.49	0.00	0.11	0.11	5.71	1.19	0.57	0.00	0.00	0.01	0.58	0.12	0.07	0.02	6.37	1.33
29年目	H 57	0.99702	0.99833	0.99732	0.2003	5.48	0.00	0.11	0.11	5.69	1.14	0.57	0.00	0.00	0.01	0.58	0.12	0.07	0.01	6.35	1.27
30年目	H 58	0.99701	0.99833	0.99731	0.1926	5.46	0.00	0.11	0.11	5.68	1.09	0.56	0.00	0.00	0.01	0.58	0.11	0.07	0.01	6.33	1.22
31年目	H 59	0.99700	0.99833	0.99730	0.1852	5.44	0.00	0.11	0.11	5.66	1.05	0.56	0.00	0.00	0.01	0.58	0.11	0.07	0.01	6.31	1.17
32年目	H 60	0.99700	0.99832	0.99729	0.1780	5.43	0.00	0.11	0.11	5.64	1.00	0.56	0.00	0.00	0.01	0.58	0.10	0.07	0.01	6.29	1.12
33年目	H 61	0.99699	0.99832	0.99729	0.1712	5.41	0.00	0.11	0.11	5.63	0.96	0.56	0.00	0.00	0.01	0.57	0.10	0.07	0.01	6.27	1.07
34年目	H 62	0.99698	0.99832	0.99728	0.1646	5.39	0.00	0.10	0.11	5.61	0.92	0.56	0.00	0.00	0.01	0.57	0.09	0.07	0.01	6.25	1.03
35年目	H 63	0.99697	0.99831	0.99727	0.1583	5.38	0.00	0.10	0.11	5.59	0.89	0.56	0.00	0.00	0.01	0.57	0.09	0.07	0.01	6.24	0.99
36年目	H 64	0.99696	0.99831	0.99726	0.1522	5.36	0.00	0.10	0.11	5.58	0.85	0.55	0.00	0.00	0.01	0.57	0.09	0.07	0.01	6.22	0.95
37年目	H 65	0.99695	0.99831	0.99726	0.1463	5.35	0.00	0.10	0.11	5.56	0.81	0.55	0.00	0.00	0.01	0.57	0.08	0.07	0.01	6.20	0.91
38年目	H 66	0.99694	0.99831	0.99725	0.1407	5.33	0.00	0.10	0.11	5.54	0.78	0.55	0.00	0.00	0.01	0.57	0.08	0.07	0.01	6.18	0.87
39年目	H 67	0.99693	0.99830	0.99724	0.1353	5.31	0.00	0.10	0.11	5.53	0.75	0.55	0.00	0.00	0.01	0.56	0.08	0.07	0.01	6.16	0.83
合計						222.34	0.00	4.41	4.65	231.40	74.94	22.98	0.00	0.05	0.57	23.60	7.64	3.01	0.98	258.01	83.56